

まなび

発行 松永地域振興課編集室
住所 福山市松永町三丁目1番29号
電話 084-934-5443
FAX 084-934-8251
メール matsunaga-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



ふくやま人権大学 2021 ゼミ

11月は「地域共生社会」コース

つながり・ささえあう地域共生社会をめざして



子ども食堂から広がる地域の輪

第1回 11月10日(水)19:00~20:30

なおしま かつき

講師 直島 克樹さん

(川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 講師)

内容

子どもの貧困問題、子ども食堂、支援活動について学び、地域における子どもたちへの支援について考えます。

第2回 11月17日(水)19:00~20:30

ふじい あやか

講師 藤井 彩加さん(そらまめこども食堂店長)

うちこし ゆうま
打越 悠真さん(学生食堂モナリザ代表)

内容

福山市内の子ども食堂の実践事例から、地域でできることを考えます。

場所 福山市三吉コミュニティセンター(福山市三吉町2丁目8番5号)

+ オンラインでも受講できます Microsoft Teams (マイクロソフトチームズ)

- オンラインをご希望の方は、メールまたは以下の申込フォームからお申込みください。
- 新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 当日、リアル会場ではマスクの着用、手指消毒、検温等へのご協力をお願いします。

■定員 30人 ■要約筆記、手話通訳などが必要な場合は事前にお知らせください。

■受講料 無料(オンライン参加にかかる通信料は、参加者の負担となります。)

■駐車場 有 ■主催 福山市(人権・生涯学習課)

■問合せ・申込み先 人権・生涯学習課 ※事前申し込みが必要です。

電話 084-928-1243 FAX 084-928-1229

E-mail jinken-shougaigakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp



申込フォーム
URLはこちら



ふくやま人権大学
HPはこちら



西部市民センター まなびサロン10月

展示

「身近な相談窓口 国の行政相談」

～行政相談委員制度60周年～

期間 10月9日(土)～ 10月24日(日)

場所 西部市民センター1階 エントランスホール

内容 行政相談委員法に基づき、1961年(昭和36年)に始まった行政相談委員制度が、今年で60周年を迎えました。行政全般に関する相談や、行政手続きなどに関する問い合わせなど、地域住民のみならず身近な相談窓口である行政相談委員制度を改めてお知らせし、ピクトグラムによる外国人住民をはじめとした誰にでも分かりやすい展示を行います。

問合せ 松永地域振興課/電話(084-934-5443)

まちづくり トピックス

地域で取り組む敬老行事 ～ できる範囲の心づくし～

新型コロナウイルス感染症の影響により、福山市主催の敬老行事は今年度も中止になりました。そんな中、できる範囲で行われた心づくしの取組を紹介します。

記念品に子どもたちの手紙など添える

高西町まちづくり推進委員会

高西町まちづくり推進委員会では、高齢者に向けた手紙作りを子ども会に依頼しました。敬老行事を担当する健康交流部は、当初は寄せ書きを考えましたが、集まって作業することも難しいため、各家庭で手紙を書いてもらうことにしました。寄せられた手紙は、データ化しA4判1枚に編集。福山市からの記念品に添えました。



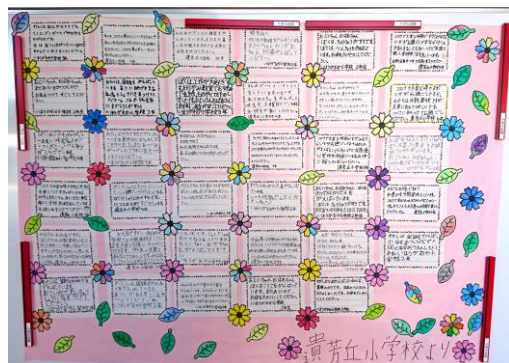
衛生用品購入券のガイドを作成

福山市は、敬老対象者に衛生用品購入券を配布しています。高西町は、尾道市と隣接しているため購入券を使用できない商店が近隣に多くあります。そこで、注意事項を見やすくまとめたガイドを作成し、合わせて配布しました。

子どもたちのメッセージを交流館に掲示

今津まちづくり推進委員会

今津まちづくり推進委員会では、福山市立遺芳丘小学校の児童から寄せられたメッセージを、今津交流館で掲示しました。コロナ禍で直接伝えることが難しい状況においても、高齢者に向けた児童の温かいメッセージを掲示することで、感謝や長寿を願う気持ちを伝えました。



《 い草の言い草 》

い草の栽培は1年半

い草は、作付けから収穫までの間に畑から田へ、田から畑へと何度かの植え替えを行います。そうすることで、丈夫で品質の良いい草が育ちます。

最初の作付けは12月頃、「苗畑」と呼ばれる畑に行います。成長した苗は、次の夏頃

「苗床田」と呼ばれる田に植えかえます。

さらに、その年の11月から12月頃、「本田」と呼ばれる田に植えかえます。

収穫の刈り取りは次の7月頃に行うので、おおよそ1年半の時間がかかるのです。



松永地域では、休耕田などで自生しているい草が見られます。



情報びっくり箱

講座に参加する時は
マスクを着用してください



松永図書館(933-3770)

<10月の行事予定>

☆YA 展示「ぼくのわたしのイチオシ本!!」

- 募集期間 10月1日(金)~11月15日(月)
- 展示期間 2022年1月8日(土)~3月27日(日)
- ところ 松永図書館 YA 展示コーナー
- 内容 YA (Young Adult: 中高生) 向けのおすすめの本を利用者から募集し、紹介・展示します。

☆秋の美味しいおはなし会

- とき 10月30日(土) 15時~15時40分
- ところ 松永図書館 集会室
- 内容 大型絵本『ねずみのいもほり』の読み聞かせなど。
※当日13時より整理券を配布します。(20枚程度)

☆展示「絆の物語 ~映像・舞台化作品を味わう~」

- とき 10月1日(金)~18日(月)
- ところ 松永図書館 展示コーナー
- 内容 映画やドラマ・舞台のチラシやパンフレットなどの展示を行う。併せて、映像・舞台化した作品の原作本・関連本、約60冊の展示・貸出を行う。

※緊急事態宣言の延長に伴い、開始日が「9月22日」から「10月1日」に変更になりました。



<定例行事>

☆あかちゃんといっしょのおはなし会

- とき 10月13日(水) 及び 14日(木) 11時から11時15分
- 内容 乳幼児とその保護者を対象にしたおはなし会です。

※行事は、新型コロナウイルス感染症拡大状況により、人数制限または中止になる場合があります。

<<図書館のお休み>>

10月19日(火) 館内整理日



今津交流館(934-2205)

☆社会教育活動事業「防災セミナー」

~もしもの災害に備えて~「防災セミナー」パート1

- とき 第2回 10月13日(水) 13時30分~15時
第3回 10月20日(水) 13時30分~15時
- ところ 今津交流館
- 内容 第2回「非常食の体験会」
非常食の試食・実演やローリングストックについて学びます。



第3回「災害時のスマホ活用術」
スマホを活用して、事前に災害情報を入力する方法や、災害に遭った時に、救助要請や自分の位置情報など連絡する方法等を学びます。

- 対象者 成人(一般)
- 講師 第2回 西部生活学校 植村 二三子 さん
第3回 BCCスマートフォン&タブレット教室インストラクター 中井 美幸 さん

- 定員 20人
- 申込み 必要
- 持参物 第3回のみ スマートフォン持参
- 申込み・問合せ 今津交流館へ



高西コミュニティセンター(934-2329)

☆交流促進講座開催事業 子育て交流事業

ベビーと保護者のふれあい ベビーヨガ

- とき 10月26日(火) 10時~11時30分
- ところ 高西コミュニティセンター 2階和室
- 内容 赤ちゃんとのスキンシップを楽しみ、おうちに帰ってもできるベビーヨガやふれあい遊びをします。また、お話タイム(子育て相談)で、保護者同士がつながれるきっかけの場を設けます。

- 対象者 赤ちゃん(2歳くらいまで)と保護者
- 講師 瀧川 知子 さん
(保育士・ベビーヨガインストラクター)

- 定員 10組
- 申込み 必要
- 持参物 バスタオル・飲み物・動きやすい服装
- その他 上に兄弟姉妹がいたら、その方も参加可能です。
- 申込み・問合せ 高西コミュニティセンターへ



2020年度(令和2年度)協働のまちづくり推進事業報告書をホームページに掲載しました!

2020年度(令和2年度)に、各学区(町)まちづくり推進委員会が実施した事業内容を、福山市ホームページ内の各公民館・交流館ホームページに掲載しています。学区(町)内の公民館・交流館で検索してください。

キーワードでさがす

〇〇公民館

検索

SDGsの 持続可能な 活動紹介

「SDGs」(エス ディージェズ)は、「Sustainable Development Goals」の頭文字で、「持続可能な開発のための目標」という意味です。国際連合が、全ての人々が幸福に暮らし続けるために提唱したもので、17の目標と169の具体的な行動の項目を定めています。

「まなび」では持続可能な活動を紹介し、関連する記事に17の目標のアイコンとロゴを掲載しています。

その3 TFT(テーブル フォー トゥー)という 分かち合い



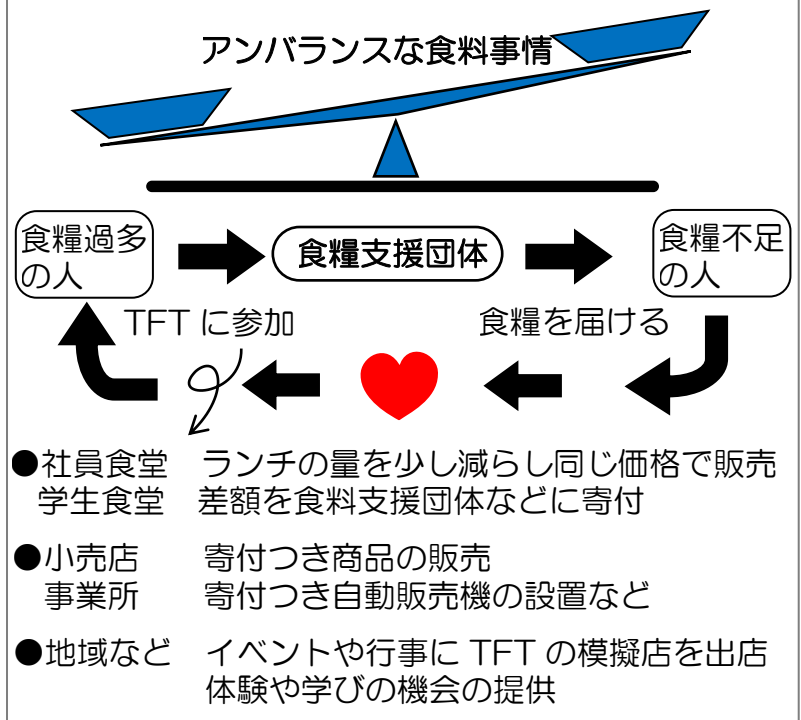
この記事は SDGs 目標 1 「貧困をなくそう」や、3 「すべての人に健康と福祉を」などに関係しています。

TFT (Table for two) を直訳すると「二人の食卓」という意味があります。

食料が不足している人は発展途上国を中心に約10億人、食料過多の人は先進国を中心に約10億人と言われています。この両者が少しの食料を分かち合うことで、多くの食糧不足を解決することができます。そのためには、日々の暮らしの中に、「分かち合う価値観」を醸成することが大切です。

企業の社員食堂や大学の学生食堂などでは、ランチの量を少しだけ少なくして健康志向を促し、同じ価格で販売した差額を寄付する取組が始まっています。

TFTで分かち合う仕組みのイメージ



ゲタなび

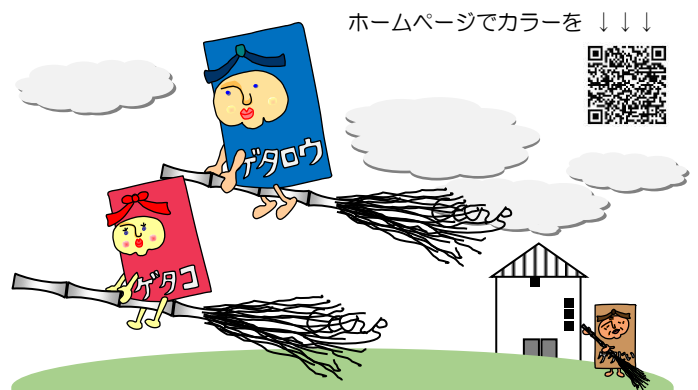


SDGs

13 気候変動に具体的な対策を

天高く馬肥ゆる秋の空を見上げたら、飛行機が一筋の雲を残して通り過ぎました。「乗ってみる」のはご無沙汰ですが、「のって見る」のも実は久々。思えば、各地の空港がコロナ禍で減便になってから空がなんだか静かかと。ずいぶん前の天体観測で、ひっきりなしに夜空を飛び交うありさまを見て興ざめたことを思い出しましたが、活発な「経済活動の証」でもあり、満席の離陸に戻る日を祈るばかりです。

SDGs が叫ばれる今日、飛行機もソーラー発電



で飛ぶ機体や水素ジェットエンジンなど、環境を意識した開発が進んでいるようです。そうした努力が、いつの日か持続可能な「経済活動の証」になってほしいと願います。その機体に「乗ってみる」日はずっと先だと思いますが、たまには天高く秋の空を「のって見」まじょうか。